



賞  
状

# 之工ようひ

エコギャラリー新宿 まるごとエコ Book



みんなでほめあう  
知恵と工夫と実行力!



みんなでほめあう  
エコライフ

- P.2 新宿エコワン・グランプリとは
- P.3 個人・ファミリーデ部分
- P.4 グループ部門
- P.5 環境にやさしい事業者部門
- P.6-7 大賞受賞者一覧・応募者募集

VOL.  
7



# 新宿エコワン・グランプリとは

年間の“エコライフ”をほめあう場「新宿エコワン・グランプリ」。今回は、その仕組みとともに大賞受賞者の活動をご紹介します。区内で広がるエコの知恵と工夫がいっぱいです。

環境都市新宿の創造に向けて、区民・事業者・区が一体となって持続可能な地域社会づくりを広げることをめざし、毎年、地球温暖化防止・省資源やごみの減量化・リサイクル・自然保護やみどりと水辺の創出など、環境にやさしいくらしや地域、企業の活動で、他の参考となる優れた取り組みを募集し、表彰しています。2007年度に第1回を開催し、その後継続して行われています。募集と審査は、「個人・ファミリー部門」「グループ部門」「環境にやさしい事業者部門」の3部門に分けてコンテスト形式で実施しています。特に審査員は環境の専門家だけでなく、環境活動・行動を実践する区民、団体、事業者等の参画を得て、協働で行うという特徴があります。また表彰式は、エコギャラリー新宿が実施する「みどりのカーテン普及啓発事業」、「新宿の花・みどりいっぱい写真展」等、その年の環境関連事業での熱意ある取り組みを表彰する場としても活用され、表彰式ではそれら全ての受賞者が一堂に会し、表彰や優秀作品紹介・受賞活動発表会を行い、一層の定着を応援します。そして表彰式の様子は次年度12月発行の「新宿区エコ・チェックダイアリー」に掲載し、広く区民へ啓発します。

## 新宿エコワン・グランプリの仕組み

- 家族や地域・企業の独自アイディア
- 環境に対する問題意識
- 何気ない日々の気づき
- 目標を掲げた1年間の集大成



エコギャラリー新宿での活動や取り組みに参加

### 応募・コンテスト

- 個人・ファミリー部門
- グループ部門
- 環境にやさしい事業者部門

地域や団体  
との協働  
(審査員)



### 特別賞

- 新宿の花・みどりいっぱい写真展賞
- 省エネ賞
- みどりのカーテンプロジェクト賞

### 新宿エコワン・グランプリ表彰式

受賞者発表会・作品紹介集



新宿区エコ・チェックダイアリーへの掲載

### その後も継続した取り組み



表彰をきっかけに新たな行動や活動参加

地域や学校・  
企業間での  
普及・共有

より上の賞  
を目指した  
創意工夫

# 個人・ファミリー部門

バラエティに富んだみなさんの活動が、人と人とのつながりを通じて、地域にじわりと広がる様を感じることのできる個人・ファミリー部門。  
2015、2016、2017、2019年度の大賞受賞者のみなさんの活動をご紹介します。

2015年度

## みどりのカーテン作りによる省エネへの取組 みどりのカーテン作りの探究とカーテン内外温度測定による遮熱効果の確認 福住 達夫さん



2015年度 新宿「みどりのカーテン」プロジェクト報告書。みどりのカーテンを上手につくるコツは、1×1.8mのネット当たり苗は2株、そして土づくり、誘引、十分な水遣り。

我が家は2階建てで、ほぼ南に面しているため、冬は暖かく過ごせますが夏は大変暑い。そこで、少しでも節電したいと思い、ゴーヤーを育てる新宿区の取り組み、新宿「みどりのカーテン」プロジェクトに参加(7回)してきました。回を重ねるうちに、より効果的なみどりのカーテン作りができるないかと考えるようになり、3つの目標をたてました。「①みどりのカーテンを上手くつくるコツを見つけること ②カーテンの効果を定量的に評価・確認すること ③節水に効果的な「水遣り(給水)方法」を見つけること」です。これら3つの試行錯誤の結果を写真、グラフ、表にまとめました。



カーテンの内外部の温度差(晴天時)は、最大で10℃、日中平均で4~5℃でした

2016年度

## 家族で取り組むエコ活動 鈴木ファミリー

2013年度  
新宿区こども環境絵画コンテスト  
区長賞を受賞



日頃から、家族で力を合わせてエコ活動に取り組んでいます。特に、エコギャラリー新宿の事業に、姉妹と母の3人で参加者・ボランティアスタッフとして関わり、環境について学び、高め、さらにその輪を広げていくために様々なチャレンジを続けています。

姉(中3)は、小学1年生から参加している「こどもエコ広場新宿」や、夏休みこどもエコ講座では、小学生の活動をサポートする「中高生スタッフ」としてボランティアを続けています。「環境絵画展」では、2013年度に区長賞、2016年度に銅賞を受賞しました。

妹(小4)は、姉の参加をきっかけに、1年生の時から「こどもエコ広場新宿」に参加。2013年度みどりの小道「環境日記」では、若葉賞を受賞しました。

母は、こども2人に刺激を受け、2016年度「新宿区エコリーダー養成講座」を受講し、修了しました。



新宿区エコリーダー養成講座での提案発表

2017年度

## 内藤とうがらしまちおこし 鰐沢 信子さん



2011年頃、エコギャラリー新宿での講座を受講し、江戸東京野菜の「タネを残し、タネを増やす」ことの大切さを知ったことを発端に、内藤とうがらしを育て、まちにひろげる活動を行っています。新宿御苑で購入した苗から採取したタネをポットで育てて、地域の方々に差し上げたり、公園ボランティアとして活動してい



公園で育てています

る公園で育てています。散歩の途中で立ち寄られた方からは「とうがらしの出来はどう?」「ここに来ると、なぜか懐かしいのよ」などお声かけいただいくども多く、名も知らぬ「とうがらし友達」「花友達」との交流が、私の人生を豊かにしていることに感謝します。そして、個人ではじめた活動が、地域へと広がり、人と人とのつながりをつくれていることへの実感が、活動を継続する大きな原動力になっています。



季節ごとの花が彩ります

2019年度

## エコを広める ~絵画やボランティアを通して~ 井上 央雅さん

「こどもエコ広場新宿」での活動の様子



友達の説明がきっかけで、「こどもエコ広場新宿」の活動を支える「中高生スタッフチーム」に中学1年生から参加しています。「どうしたら小学生達が楽しく活動でき、身近なエコについて分かりやすく考え、学びを深めることができるか」を意識しながら、活動をサポートしています。

小学3年生から毎年取り組んでいる「環境絵画」は、環境問題やエコについて考えたり、意識を高める良い機会になっています。2015年度は金賞、2019年度はファミリーの部、中学校の部の2部門で賞をいたぐらなど、これまで5回入賞しました。また、毎年受賞作品が掲載されるカレンダー「新宿区エコ・チェックダイアリー」を家族や友人に紹介し、エコについて話すきっかけにもなっています。今後は、小学生だけにとどまらず、多くの人にエコの輪を広げていきたいです。



2015年度  
「新宿区こども環境絵画コンテスト」  
で金賞を受賞



## グループ部門

地域や学校などでチームを結成し、協力しながら環境活動に取り組んでいる「グループ部門」。2019年度に大賞を受賞したグループにインタビューさせていただきました。

### 2019 年度 グループ部門 大賞

#### 『こどもエコ広場新宿』 中高生スタッフチーム

小学生のこどもエコクラブ運営を  
支える中高生の力

『こどもエコ広場新宿』は、エコギャラリー新宿を拠点に区内の小学生が参加しているこどもエコクラブです。約400名が登録しており、「環境」をテーマに様々な専門家を講師としてお呼びし、楽しみながらエコについて学んでいます。そんなクラブ運営を支えているのが、中高生スタッフの力。現在はOB／OGなど6名でチームを結成し、中高生の視点で小学生の活動をサポートするなど、ボランティアを続けています！

### 受賞者インタビュー

——『こどもエコ広場新宿』への参加、スタッフとして関わるきっかけは？



佐藤

『こどもエコ広場新宿』には、お母さんがインターネットで調べてくれて勧められ、小学3年生の時に加入しました。実際に参加してみて、各講座はもちろん、中高生や大学生などのスタッフの方々との関わりが楽しかったことを覚えています。その頃からなんとなく、「卒業したらスタッフになりたい」「楽しそうだなあ…」と思っていたました。



**井上 央雅さん**  
(新宿西戸山中学校3年)



——「中高生スタッフ」のみなさんは、具体的にどんな活動をしていますか？

井上(泰)

準備や片付けと、クラブ活動では実験や工作などのワークの時に班について活動をフォローする感じです。あと、活動終了後にはスタッフチームで反省会を行い、毎回ふりかえりをしています。「こどもたちに楽しく帰ってもらいたい！」というのが一番なので、リラックスしながら良い意味で気を抜いて接するようにしています。



**井上 泰雅さん**  
(新宿西戸山中学校3年)

井上(央)

小学生が楽しく安全に活動できるように気を配りながら、参加者と年齢の近いスタッフとして活動をサポートしています。講座が終わった後、こどもたちが満足そうな顔で帰っていく姿を見られた時には、やりがいを感じますね。



——今後の理想的なクラブ像や、新宿の未来に向けて思うことはある？

佐藤

スタッフとして小学生のリクエストを聞きながら、こどもたちがやりたいことを実現できるクラブになるといいなと思います。



井上(央)

新宿区はビルや繁華街など賑やかなエリアもあるけど、多文化でみどりも多く、色々な顔を持っているまち。国際的にも注目される都市だから、世界一居心地の良い誇れるまちになって欲しいです。



**佐藤 祐梨亜さん**  
(聖ドミニコ学園中学校2年)

■インタビュー文：安達 侑里（インターン生／東京農工大学2年）

私たちと一緒に活動してくれる中高生スタッフを募集しています。「こどもが好き」「環境に興味がある」など、参加のきっかけは様々です。まずはお気軽に下記メールアドレスまでご連絡ください。

メールアドレス [info@shinjuku-ecocenter.jp](mailto:info@shinjuku-ecocenter.jp)

こどもエコ広場新宿  
中高生スタッフ  
**大募集！**



## 環境にやさしい事業者部門

他の参考となるような将来性のある環境にやさしい活動を実践している事業者を表彰する「環境にやさしい事業者部門」。2019年度に大賞を受賞した事業者の取り組みをご紹介します。

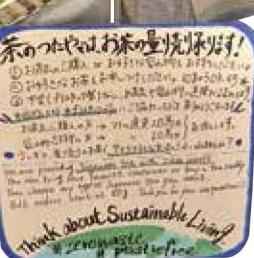
**2019年度**

# 環境にやさしい 事業者 大賞

## CHA TSUTAYA 茶のつたや

小さなお茶屋でもできるSDGs  
～地球1個分のくらしを目指して～

昭和3年の創業当時から、新宿区高田馬場に店舗を構える日本茶専門店「茶のつたや」。手塚治虫氏の著書『ガラスの地球を救え』のメッセージに共感し、2004年から早稲田・高田馬場発祥の地域通貨「アトム通貨」に加盟店として参加するなど、環境活動を続けています。近年は、2015年に国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けて、SDGsで掲げられたグローバル目標を店舗での取り組みとしてローカライズし、様々なエコプロジェクトを通じて「地球1個分のくらし(=持続可能なくらし)」をお客様にご提案しています。SDGsの達成期限となっている2030年には、お店は創業102年を迎えます。将来世代に持続可能な社会を引き継ぐべく、新宿発の活動を続けていきます。



### 店舗情報

〒169-0075 新宿区高田馬場 1-17-17

TEL 03-3200-0285 FAX 03-3200-0286

Web <http://www.cha-tsutaya.com/>  
(※木曜定休)

### 「茶のつたや」エコプロジェクト(例)

#### ● 地球にやさしい 買い物の提案

レジでの呼びかけによって、レジ袋や過剰包装を抑制しています。また、急須でお茶を飲む文化をお伝えすることでペットボトル利用の見直しにつなげたり、茶葉販売を繰り返し使える茶缶に詰める形式で行うなど、お茶屋ならではの“おいしいエコ”をご提案しています。



#### ● 店舗における 脱プラスチックの推進

カフェにおけるプラスチック製ストローや使い捨ておしぼりの提供を原則中止し、ごみの減量につなげています。また、テイクアウトのお客様には、さとうきびの搾りかすを原料とした生分解性素材のカップ・ストロー・スプーンなどを用いてご提供しています。



#### ● 小学校のキャリア 教育への協力

戸塚第一小学校の児童を職場体験・職場訪問の一環として受け入れておらず、お茶を飲む機会が減っていることでもたちに対して、日本の歴史や文化を象徴する飲み物の代表格である日本茶について楽しみながら学んでもらう取り組みを続けています。



# 新宿エコワン・グランプリ大賞

## 第1回～第13回 受賞者一覧

第9回から、各部門ごとに大賞を設けています。

### 第1回～第8回

<b>第1回</b> (2007年度)	エコワン・グランプリ大賞 <b>竹内 翔さん</b> 「さまざまなアクションの実施(省エネ・省資源、ごみ減量、水質保全、動植物へのアクション、環境問題について考える)」
<b>第2回</b> (2008年度)	エコワン・グランプリ大賞 <b>新宿区立落合中学校 生物部</b> 「落合中学校とおとめ山公園池の水の環境調査」
<b>第3回</b> (2009年度)	エコワン・グランプリ大賞 <b>箪笥地区協議会</b> 「たんすC(クリーン)&G(グリーン)作戦」
<b>第4回</b> (2010年度)	エコワン・グランプリ大賞 <b>新宿中央公園ビオトープの会</b> 「区民の創意でできたビオトープ空間を守り育てる」
<b>第5回</b> (2011年度)	エコワン・グランプリ大賞 <b>株式会社 八千代銀行</b> 「八千代銀行の環境取組について(さまざまな環境技術の導入・資金面からのバックアップ・環境保全活動)」
<b>第6回</b> (2012年度)	エコワン・グランプリ大賞 <b>新宿区立大久保小学校5年1組</b> 「クール・ジャパン！アニメで発信！これが僕らのメッセージ」
<b>第7回</b> (2013年度)	エコワン・グランプリ大賞 <b>オリンパス株式会社 テクノラボ</b> 「顕微鏡を使用したプログラムで、学校への出前授業や各種イベントに参加」
<b>第8回</b> (2014年度)	エコワン・グランプリ大賞 <b>齋藤 瑞貴さん</b> 「ごみから地球を救え！」

### 新宿エコワン・グランプリ特別賞の紹介

#### ◇新宿の花・みどりいっぱい写真展賞

新宿区内の様々な地域で見ることのできる“花・みどりのある風景”を展示了した「新宿の花・みどりいっぱい写真展」にご応募いただいた作品の中から優れた作品を表彰しています。

#### ◇みどりのカーテンプロジェクト賞

新宿「みどりのカーテン」プロジェクトに参加し、生育記録シートを提出され、「みどりのカーテン展(生育記録シートの展示会)」で多くの支持を集めた方々を表彰しています。

#### ◇省エネ賞

新宿区エコ・チェックダイアリーの「我が家家のエネルギー集計表(1月～12月の毎月の電気・ガス・水道使用量を記入する)」を提出いただいた方の中で、前年度に比べて、省エネを実践している上位者を表彰しています。



### 第9回～第13回

<b>第9回</b> (2015年度)	個人・ファミリー部門 大賞 <b>福住 達夫さん</b> ▶3枚 「みどりのカーテン作りによる省エネへの取組(みどりのカーテン作りの探究とカーテン内外温度測定による遮熱効果の確認)」
<b>第10回</b> (2016年度)	グループ部門 大賞 <b>工学院大学 環境マネジメント工学研究室</b> 「ライフサイクル思考(LCT)に基づく環境教育活動」
<b>第11回</b> (2017年度)	環境にやさしい事業者 大賞 <b>株式会社 追分だんご本舗</b> 「『打ち氷大作戦』と氷を用いた涼の演出、及び食品ロス等その他の環境への取組の推進について」
<b>第12回</b> (2018年度)	個人・ファミリー部門 大賞 <b>鈴木ファミリー</b> 「家族で取り組むエコ活動」▶3枚
<b>第13回</b> (2019年度)	グループ部門 大賞 <b>子供向け食育ボランティア団体 「キッチンの科学プロジェクト(KKP)」</b> 「『食育』をテーマにした科学実験ワークショップにおける、環境学習の推進」
	環境にやさしい事業者 大賞 <b>スターバックスコーヒー 新宿グリーンタワービル店</b> 「スターバックスのお客様や地域と連携した社会貢献・環境活動」
	個人・ファミリー部門 大賞 <b>鰐沢 信子さん</b> 「内藤とうがらしまちおこし」▶3枚
	グループ部門 大賞 <b>早稲田大隈商店会</b> 「商店会主催の『クリーン大作戦』」
	環境にやさしい事業者 大賞 <b>セルズ環境教育デザイン研究所</b> 「自然と人をつなぐ『学問的・論理的な自然教育』をテーマとした環境学習指導」
	個人・ファミリー部門 大賞 <b>該当者なし</b>
	グループ部門 大賞 <b>新宿区消費者団体連絡会(16団体)</b> 「今まで・これからもSDGs循環型社会への取組を継続」
	環境にやさしい事業者 大賞 <b>株式会社三陽商会</b> 「子どもたちとの交流により、服やモノを大切に長く使う心を共に育む『服育授業』」
	個人・ファミリー部門 大賞 <b>井上 央雅さん</b> 「エコを広める－絵画やボランティアを通じて－」▶3枚
	グループ部門 大賞 <b>『こどもエコ広場新宿』中高生スタッフチーム</b> 「『こどもエコ広場新宿』中高生スタッフチームの活動」▶4枚
	環境にやさしい事業者 大賞 <b>CHA TSUTAYA 茶のつたや</b> 「小さなお茶屋でもできるSDGs～地球1個分の暮らしを目指して～」▶5枚

# 新宿エコワン・グランプリ

応募者  
募集

環境にやさしい取り組み  
ナンバーワンを決めるよ！

新宿エコワン・グランプリ

検索



自薦・他薦は問いません

## 募集部門

- ①個人・ファミリー部門 区内在住の個人・ファミリー
- ②グループ部門 区内で活動するグループ
- ③環境にやさしい事業者部門 区内に事業所がある事業者

## 募集内容

「地球温暖化防止」「省資源」「ごみの減量化」「リサイクル」「自然保護」「みどりや水辺の創出」など、環境にやさしい家庭、地域、企業の活動で、他の参考となる優れた取り組み

## 募集期間

10月～翌年1月

## 賞

大賞、優秀賞、奨励賞、特別賞

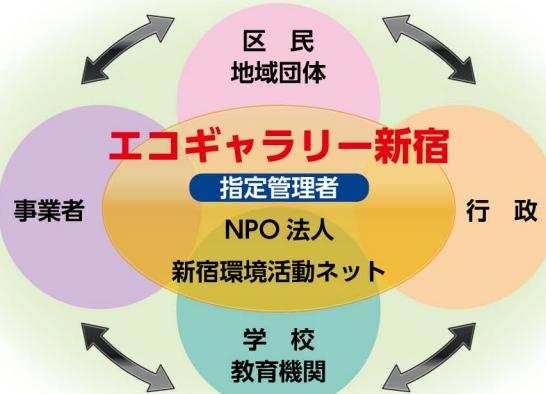
※詳細は環境学習情報センターまでお問い合わせください。

## エコギャラリー新宿とは

都会の森「新宿中央公園」にある「エコギャラリー新宿」は、1階に文化活動の発表の場「区民ギャラリー」、2階に環境情報・活動の拠点「環境学習情報センター」を併せた新宿区の複合施設です。

気候変動対策、資源の効率的な活用、自然共生などの環境課題はもちろん、環境・経済・社会・文化を統合した「文化の香り高い持続可能な都市 新宿」の実現に向け、区民・NPO・事業者・行政・教育機関をつなぐ交流拠点として、企画・運営の段階からマルチセクターの参画も得ながら運営しています。

※2004年4月より、公募による選定を経て、NPO法人新宿環境活動ネットが指定管理者として管理運営しています。



### エコギャラリー新宿

#### イメージキャラクター

#### エコ王子

名前：エコ王子  
出身：エコギャラリー新宿  
特技：空を飛ぶこと  
エコ上手（日々勉強中）  
マイブーム：エコバック  
木のペンダントづくり





## エコギャラリー新宿（新宿区立環境学習情報センター・区民ギャラリー）

開館時間：10:00～21:00 (区民ギャラリーは、10:00～18:00)

休館日：毎月第4曜日・年末年始（12/29～1/3）第4曜日が祝日の場合はその翌日

住所：〒160-0023 新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内

TEL 03-3348-6277 FAX 03-3344-4434

E-mail : info@shinjuku-ecocenter.jp

WEB : <https://www.shinjuku-ecocenter.jp/>



●徒歩 新宿駅西口より約15分

●バス 新宿駅西口ターミナル17番乗り場

■宿32【佼成会聖堂前】行き「十二社池の下」より徒歩1分

■宿33【永福町】行き「十二社池の下」より徒歩1分

新宿駅西口地下広場シャトルバス乗り場

■CH01（循環）【都庁舎】行き「都庁第一本庁舎」より徒歩7分

●地下鉄 大江戸線「都庁前」駅A5番出口より徒歩5分

丸の内線「西新宿」駅2番出口より徒歩10分